

# こんにちは 庄内町議会



No.73  
3月議会号  
4.4.15



余目中学校 卒業式

大きく  
はばたけ!

関連記事 P.26

- ◆ 3年ぶりの増額予算……………〈予算〉 P. 2
- ◆ どう使うのか……………〈予算特別委員会〉 P. 6
- ◆ 町政を問う 9人が提言……………〈一般質問〉 P.14
- ◆ 生かせ提言……………〈調査報告〉 P.20
- ◆ 6月に議会議員選挙……………〈議会解体親書〉 P.24

# 増額予算 可決

## 3月定例会

### 会期

3月1日(火)から  
10日(木)まで

各会計  
補正予算 **4件**

各会計  
予算 **8件**

条例制定 **14件**

条例設定 **5件**

事件案件 **2件**

契約案件 **1件**

人事案件 **2件**

発委 **1件**

**以上37件**  
原案どおり可決

### 一般会計

賛成**13人** 反対**2人**  
(反対討論・賛成討論P12)

令和4年度は、前年度より1億1200万円多い122億6400万円、前年度比0.9%増の合併後過去3番目の大型予算となりました。

### 収入(歳入)

収入では、自主財源となる町税はコロナ禍による影響と米価下落の影響はあるものの、約9400万円の増額となりました。依存財源の地方交付税は45億円と昨年度と同額ながら、借金にあたる町債は2億5600万円の減額となりました。

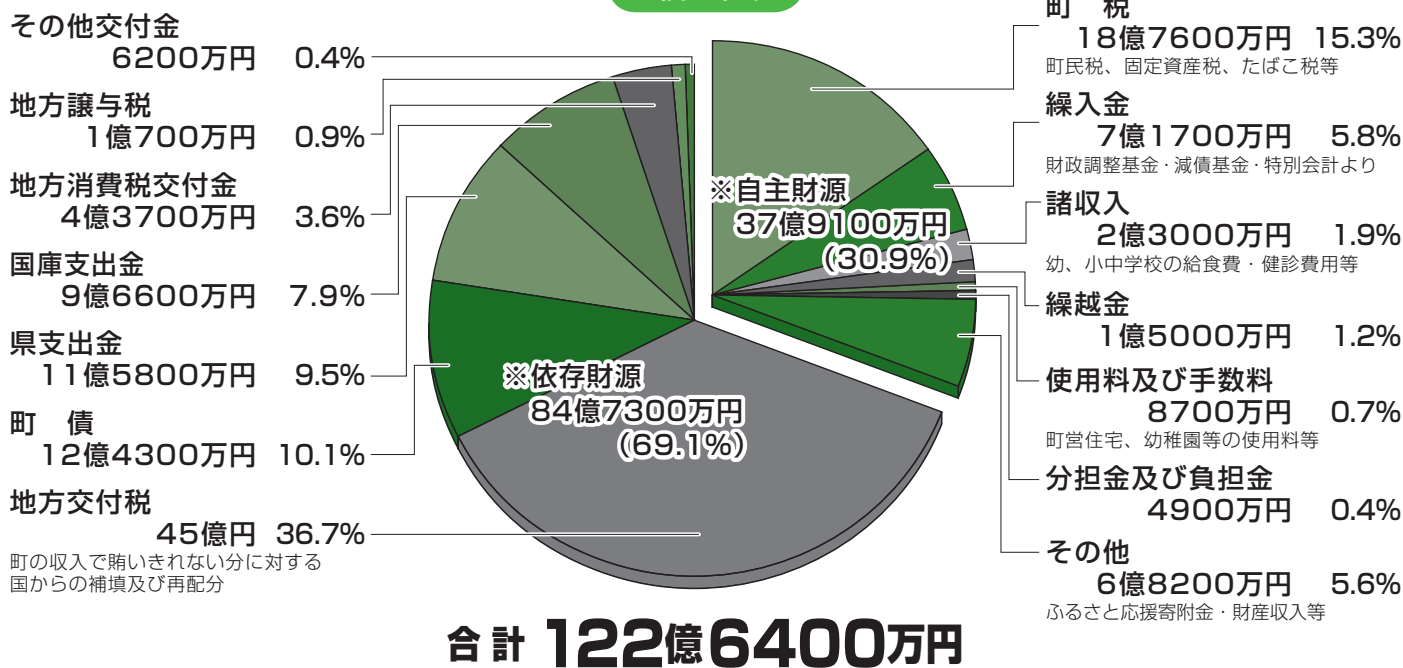


もっと使いやすく

立川総合支所

すので、合計値と割合に差異があります。)

### 収入



※自主財源：町が自主的に収入する財源をいう。  
※依存財源：国や県から定められた額を収入する財源をいう。

# 令和4年度 予算

# 建設事業費 増加 3年ぶりの

## 立川総合支所リニューアル



### 支出(歳出)

支出では、投資的経費の普通建設事業費は立川総合支所改修工事等により前年度より約2億円の増額となりました。

人件費1億8400万円減額の主な要因は、公民館の指定管理への移行と町立の狩川保育園、狩川幼稚園の民営化によるものです。扶助費は認定こども園への委託保育料等が加わり1億5200万円の増額となりました。

### 特別会計・企業会計

合計92億500万円

#### 特別会計

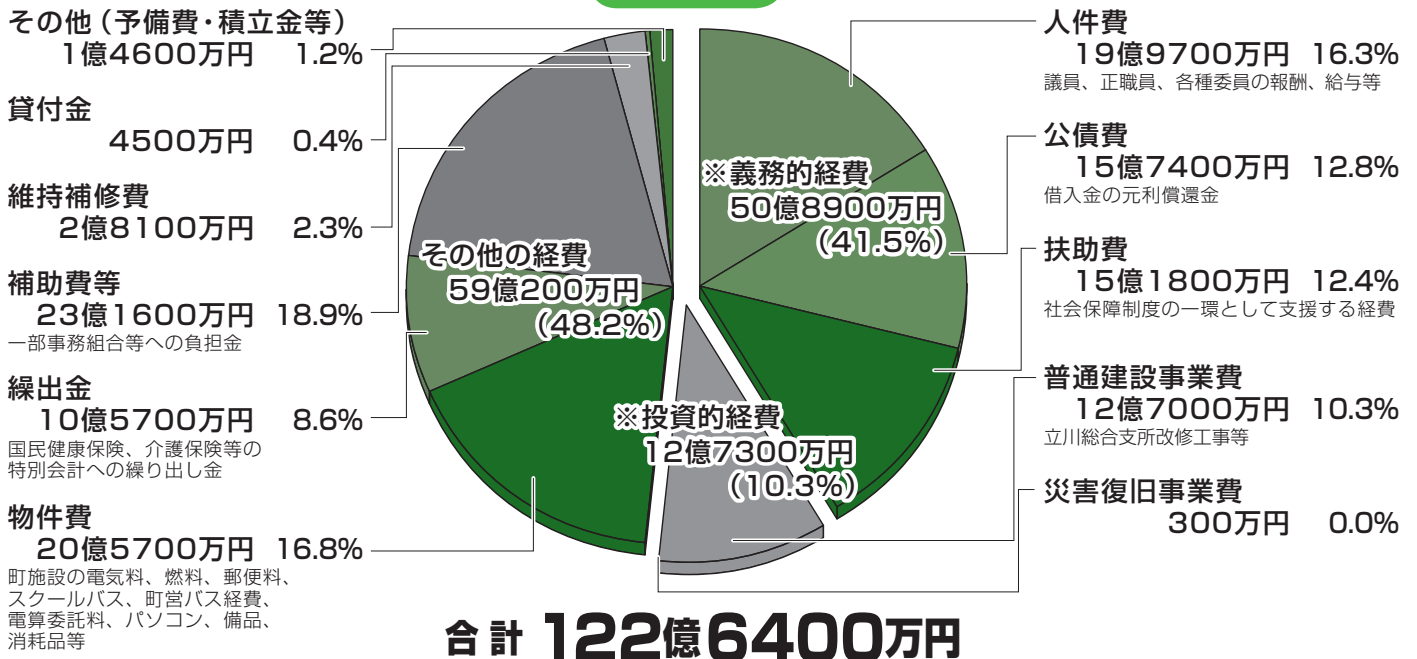
国民健康保険	22億5500万円	賛成全員で可決
後期高齢者医療保険	2億8800万円	賛成全員で可決
介護保険	30億1800万円	賛成全員で可決
風力発電事業	4300万円	賛成全員で可決

#### 企業会計

水道事業	10億8800万円	賛成全員で可決
下水道事業	16億8900万円	賛成全員で可決
ガス事業	8億7600万円	賛成全員で可決

(各予算額を10万円台で四捨五入しています)

### 支出



# りたい予算の目玉

本年度の予算の目玉事業としては、町民に親しまれてきた響ホールの舞台照明のLED化や立川総合支所改修整備事業等です。また、新規事業は地域ブランド創生事業や第一子からの誕生祝金等です。

本定例会最終日には、令和4年度の第1号となる一般会計補正予算が追加されました。主な補正は、米農家や中小企業者への支援策です。主な財源は、国からの地方創生臨時交付金です。



出演者が輝く舞台

響ホール

設置から約22年が経過し老朽化している響ホールの大ホール舞台照明設備を、LED照明などへの更新を含め、改修するものです。設計監理業務委託料817万円を含みます。

## 文化創造館大ホール

### 舞台設備改修工事業

2億1322万円



知恵を出しあう

外部専門家のノウハウを活用し、庄内町の特産品のブランド化を図るために必要な体制や仕組みを構築するもので、事業初年度はワークショップを開催し、地域資源の掘り起こしや将来ビジョンの策定等を行います。

## 地域ブランド

### 創生事業

848万円

第三子以降を対象にしてきた「ひまわりっ子誕生祝金事業」に代わる祝金で、次代を担うすべての子ども誕生を祝い、第一子から現金5万円を支給するものです。

## 庄内町

### 誕生祝金

500万円

農業への人材の1層の呼び込みと定着を図るため、機械・施設等の導入を親元就農も含め支援するものです。また、就農に向けた経営開始の取り組みも支援します。

## 新規就農者

### 育成総合

2850万円

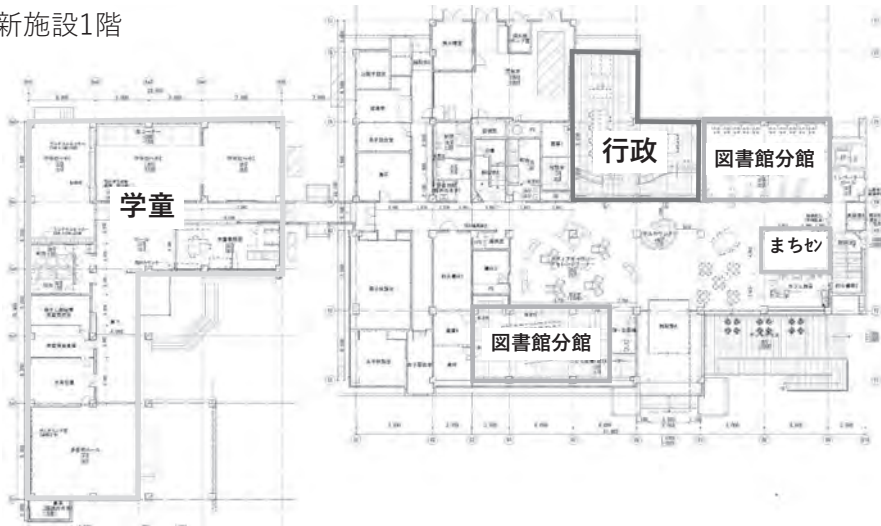
2850万円

# 令和4年度 みんなが知

## 立川総合支所改修整備事業 4億6108万円

1階には、行政エリア、図書館分館、こども図書、遊びコーナー、カフェラウンジ、学童保育、また、3階には貸オフィス・貸ミニホールを備えるなど、持続可能なまちづくりを実現できる拠点となる複合施設を目指すものです。

新施設1階



みんなが集える場所に

## 令和4年度

# 補正予算

### 米需給調整 緊急支援 事業 2950万円

需給調整に対応する農業者を支援するもので、内容は次のとおりです。(単価はすべて10aあたり)

- 飼料用米助成 (複数年契約) 6000円
- 加工用米助成 (低コスト化支援) 5000円
- 大豆助成(畝立て同時播種等先進的取組) 5000円
- そば輪作導入支援 5000円
- 高収益作物の大規模化 5000円



農産物は町の宝

### 庄内町 中小企業者 緊急支援 給付金 1005万円

売り上げが減少した中小企業者を支援するものです。支援対象は町内の中小企業者で、1事業者あたり

の支援は10万円となります。主な要件としては、

事業を継続する意志があり、「新しい生活様式」の実践例に基づき感染拡大防止に努めている事業者で、令和4年の1月または2月に農業以外の事業収入の額が平成31年から令和3年までのいずれかの年の同

じ月の売上と比較し20%以上減少していることです。



がんばれ商店街

# 予算特別委員会

予算総額（特別会計含む）  
**215億1932万円** 原案通り可決

令和4年度一般会計予算と特別会計・企業会計を含む計8案件を3月4日・8日・9日に審査しました。



委員長 五十嵐 啓一  
 副委員長 上野 幸美

全通告内容の一部を掲載しています。ほかの質問は議会ホームページの中継録画で閲覧できます。

No.	議員名	発言内容（担当課）
1	國分 浩実	消防団員報酬（環境防災課）
2	小野 一晴	認定こども園（子育て応援課）
3	小林 清悟	予算編成の枠配分、合併特例債の今後（総務課）
4	上野 幸美	児童発達支援、HPVワクチン再開（保健福祉課）
5	工藤 範子	都市計画税について（税務町民課）
6	阿部 利勝	図書館運営と郷土資料（社会教育課）
7	鎌田 準一	響ホール舞台照明設備改修工事（社会教育課）
8	石川 保	学校給食無料化（教育課）
9	加藤 将展	鳥獣被害防止策（環境防災課）

総務・文教・厚生



議会中継  
QRコード

## 安全・安心

消防団員処遇改善

國分 浩実 委員

### 問

町長は施策方針で消防団員の処遇改善に言及している。しかし団員の報酬アップはわずかである。今後アップさせるには町長の政治判断が必要だがどうか。

### 町長

継続して納入できるとしている。

### 問

食材等の地元納品納入できるのか。

### 町長

2人の保育士を1年間派遣する。

町の保育士を派遣するの

## 財政

廃止か 枠配分方式

小林 清悟 委員

### 問

本町では、予算編成作業を、令和2年度からは一般財源の枠配分方式で行っていたが、令和4年度はどうか。

## 民営化

認定こども園

保育士どつする

小野 一晴 委員

### 問

民営化される狩川幼・保育園に



いままでご苦労様

旧中央公民館

**町長**

新体制になったことやコロナ対応などもあり、一律カットでは編成作業に限界があったことから、枠配分方式を廃止した。

**合併特例債活用予定はどうか**

小林 清悟 委員

**問**

合併特例債の発行可能残額が3億

6千万円と残り少なくなった。今後の発行予定はどうなっているか。

**町長**

除却事業には有る利な借入れがないので、建物の除却などに活用したいと考えている。

**健康**

ワクチン周知 勸奨図れ

上野 幸美 委員

**問**

HPVワクチン定期接種の積極的勧奨再開と、キャッチアップ接種(※)を具体的にどう周知し実施するのか。

**町長**

接種対象者に個別通知し、希望医療機関で個別接種する。キャッチアップ接種者には、QRコードでの情報提供も行う。  
※キャッチアップ接種国が接種を控えたことで現在も未接種の方々を特定すること

**子育て応援**

児童発達支援 充実図れ

上野 幸美 委員

**問**

児童発達支援係を新設し、発達に

課題、気になる子、保護者等に支援する体制整備を図る内容は何か。

**町長**

「こっころ」(※)に相談室を開設し、職員二人体制で、児童発達支援拠点として取り組む。

※「こっころ」

役場B棟にある庄内町子育て支援センターのこと

**都市計画税**

目的税 計画示せ

工藤 範子 委員

**問**

都市計画税は事業計画も無く、目的税として賦課する根拠はなにか。

**町長**

庄内町税条例に則って賦課している。

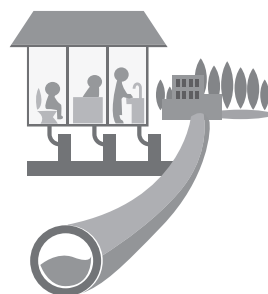


気になったら相談

賦課した「税」6463万は下水道建設事業に投下しているが、是非はどうか。

**町長**

法律に則って町は正しいと判断している。



# 図書館運営

## 読書活動とつなげる

阿部 利勝 委員

### 問

「子どもの読書活動を推進する」とあるが、新図書館での構想はどうか。

### 教育長

新図書館機能（おはなしのへや）を活かし、より子どもたちの読書意欲の向上を目指す。

### 問

特色ある図書館として郷土資料の充実は必須と思うが、佐藤幸徳中将の手書きの文章（回想録）の活字化の予算は組まれているか。

### 教育長

佐藤幸徳さんの親族の方より、後世に残すため、書籍化を検討しているとのことであり、予算化はされていない。



活字離れを防ごう

## 施設改修

### 響ホール舞台照明

鎌田 準一 委員

### 問

改修費、約2億円超の予算は町民の理解が重要だ。特殊

### 教育長

設置以来22年が経過し、機材の部品調達が厳しく調光盤の耐用年数、部材の経年劣化が懸念され安全確保が必要だ。光源をハロゲンからLEDの省エネ対応とし、設計は従来のプロレベル仕様を維持します。主要改修費は約1億4千万円、適正執行の上、完了を来年1〜2月と考

な調光盤や設置に関わる費用等、システム全体の現状や工事完了時期はどうか。

## 学校給食費

### 無料化目指せ

### 問

町長の公約となっている「学校給

石川 保 委員



照明は舞台のいのち

響ホール

えている。完了を来年1〜2月と考



完全無料化を実施している寒河江市では、ふるさと応援寄付金が40億円を超えているが、指摘の通り、収入不足を補う手立てが課題となっている。総合教育会議等を通じて、実現のための議論を進めていきたい。

食費無料化」が盛り込まれていない。1億円もの収入が減ることは、自明の理であり、不足を補う手立ては、町長自らが立てなければならぬ。早期の実現を目指すべきである。



## 環境防災

イノシシ対策をせよ

加藤 将展 委員

**問**

楯山グラウンド  
ゴルフ場のイノ  
シシ被害の防止策を実施  
し、地域コミュニティや



突然出てきたらドキッ

健康づくりを支援すべき  
でないか。

**町長** 今年は、忌避  
剤の使用で対処  
したい。

全通告内容の一部を掲載しています。ほかの質問は議会  
ホームページの中継録画で閲覧できます。

No.	議員名	発言内容（担当課）
1	加藤 将展	商店街の活性化（商工観光課）
2	工藤 範子	商工観光課庁舎移転（商工観光課）
3	國分 浩実	企業誘致プロジェクト（商工観光課）
4	石川 武利	空き家対策事業（建設課）
5	齋藤 秀紀	収入保険について（農林課）
6	小野 一晴	公園費について（建設課）
7	石川 武利	鳥獣被害防止対策事業（農林課）
8	スルタン・ヌール	6次産業化の推進（商工観光課）



議会中継  
QRコード

## 産業・建設

## 商業支援

自主財源使え

加藤 将展 委員

**問**

コロナ禍にあっ  
て商店街の元気を  
取り戻すため、飲食店以  
外でも食品製造会社や小  
売販売、卸業者、観光関  
連業、理髪店等のサービ

ス業、タクシー業などへ  
の支援は、財政調整基金  
を取り崩すなど、自主財  
源を使っても行うべき  
でないか。

**町長** これらの業種へ  
の支援は必要と  
考える。自主財源を使う  
かは検討したい。



商店街に活気を

イメージ

## 組織配置

商工観光課新庁舎に

工藤 範子 委員

**町長** 事務機構改革で、ふるさと納税係と同時に仕事をするためである。

## 企業誘致

プロジェクト

人材はどうか

國分 浩実 委員

## 問

商工観光課は新庁舎に移動すべきでないか。行財政改革から見ても移動すれば120万6千円は浮く。

## 問

町長の公約に合わせ「企業誘致プロジェクト」を立ち上げるが、メンバー構成はどうか。

## 町長

課を超えて積極的にメンバーを構成したい。町内の経済団体などからも協力を得たいと考えている。

## 空き家

老朽化再調査せよ

石川 武利 委員

## 問

空き家の老朽化・危険度評価を行って5年が経過している。その間、ますます老朽化が進んでいる。再調査を早めに行うべきである。

## 町長

再調査を検討し、危険空き家の対応を早めに行いたい。

## 農家収入保険

ゲタ・ナラシ対策と比較せよ

齋藤 秀紀 委員

## 問

収入保険は、ゲタ・ナラシ対策と比較して、必ずしも得とは限らない。農家が判断するには難しいがどうか。

## 町長

この保険は、農業者が自然災害やコロナに負けない、あらゆる収入減少に対応し、足腰の強い農業経営の実現を図ってもらうためである。奨励金は、新規加入者に対し、3万円又は掛け捨て保険料実費の低い方で40人分を予算とした。また、薦めるにあたり、共済組合とともに理解できるよう、努めたい。

## 公園管理

遊具撤去後どうする

小野 一晴 委員

## 問

町内各公園の遊具について、老朽化に伴う撤去が増えていくが新設されていない。

## 町長

検討する。

## 問

総合計画に整備計画がある。整備すべきだ。

## 町長

撤去した後の計画がないことから、新しい遊具を設置していない。



まだ空きがあります



安全な遊具で楽しく

## 鳥獣被害

イノシシ等、  
対策費増額せよ

石川 武利 委員

**問** 被害軽減のため、電気柵ワイヤーメッシュの設置は、病原菌を遮断する有効な手段にもなる。予算増額するべきでないか。



電気柵で撃退

**町長** 現時点では、増額は考えていない。

## ブランド化

6次産業化推進せよ

スルタン・ヌール 委員

**問** 6次産業化の進捗状況、ブランド創生事業はどうか。



ワークショップ始めました

**町長** クラッセやタチラボの共同利用加工場において6次産業化に取り組む方々に対しセミナーや個別相談会開催、商品開発や販路拡大に関するサポートを行い、これまで648品目の商品が開発されている。

また、地域の稼ぐ力を創出するため外部専門家のノウハウを活用し、庄内町の特産品のブランド化を図るために必要な体制や仕組みを構築する。

# 特別会計

※企業会計含む

## 介護予防事業

介護保険

長堀 幸朗 委員

## 風車

風力発電

長堀 幸朗 委員

**問** 一般高齢者介護予防事業費が76%増の理由は何か。

**町長** 第9期計画策定準備のため。高齢者の実態調査委託料など。



**問** 維持管理費が15%減の理由。安全なのか。発祥の地の一つであり、国家プロジェクト誘導もできるはず。

**町長** 保守管理料は増額。メータ交換今回なし減額による。市町村協議会に参加して先進的に活動している。

# 町民のために“なる,”“ならない,”

## 賛成



国分浩実

施政方針に注目させていただきます。

ウィズコロナ、ポストコロナにおけるこれまでもとは違った町づくりとなること、全国的な共通課題にも触れ、国、県、地域との連携にも重きを置きたい旨が感じ取れました。町政を自分のこととして、町政の主役は町民一人ひとりで

と捉えても、りたいとの思いも感じ取れる内容となりました。新たな試みとして、7つのプロジェクトを立ち上げるのことでした。公約の実現、また町の活性化につながる部分で意欲的な予算編成となっ

ていることは、大いに評価できるものです。新型コロナウイルス感染拡大に関して、様々な施策に予算を割いていることも評価できます。「庄内町誕生祝い金」の新設は、すべての子どもを大事にしたいとの思いが感じられ、少

子化対策に本腰をいれたいとの考えの表れであると捉えています。懸念材料については、質疑のなかでの答弁において、臨機応変な対応も含め町長のリーダーシップのもと改善されていくものと確信したところです。

## 反対



工藤範子

令和4年度一般会計予算案に反対である。  
①将来的に本町の財政運営に疑問である。122億6000万円余りの予算で前年度より1億1000万円余りの増である。公約は160億円の借金を減らすとある。身の丈に見合う予算にすべきである。  
②立川支所改修整備事業に4億円余りの工事は、住民から必要に迫られての工事か、今、必要なのは清川地区の

避難場所である。  
③学校給食費の無料化を目指すに掲げたが予算化されていない。  
④都市計画税は事業計画も無く賦課することは納得できません。  
⑤商工ふれあい会館74万4000円は、貸借料であり新庁舎で業務すべきである。  
⑥要、準要保護世帯は、県下で高位にあり負担軽減を図るべき。  
⑦除雪は町民生活に支障ないよう大雪に対応すべきである。除雪の遅れで勤務や諸用に使車に通れないことが多くあった。以上7点の理由により反対する。町民からの要望や意見を反映すべきである。



長堀幸朗

令和4年度一般会計予算に反対します。財政シミュレーションによる公債費負担比率の予想が18%前後で今後5年間推移していくからです。数年前の当初予算の20%前後が抑えられたともいえ、町役場の人たちのご尽力のたまものですが、15%以内までにはなっておらず不十分です。多くの地方自治体はモラルを守って15%にさえな

う。15%以内にするのが町役場の仕事です。これからの庄内町の人たちが政策的に自由に使えるお金が少なくなっています。新たに立川支所改修事業約4億6千万円や文化創造館改修事業約2億円が起債される予定です。本町の人口や財政状況からはぜいたく、火鉢一つで肩を寄せ合って冬を乗り越えたご先祖を裏切っています。周辺市町村であわせて、スポーツ公園、図書館、音楽ホールなどひとつずつであるべきです。古来より受け継がれてきた農業に特化すべき。何もいらぬと言

- |                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| <p>反対した議員</p> <p>工藤 範子<br/>長堀 幸朗</p> | <p>賛成した議員</p> <p>スルタン・ヌール<br/>石川 武利<br/>阿部 勝利<br/>齋藤 秀紀<br/>加藤 将展<br/>上野 幸美<br/>國分 浩実<br/>小林 清悟<br/>鎌田 準一<br/>五十嵐 一<br/>小野 啓<br/>石川 保晴</p> |
|--------------------------------------|--|

澁谷議員は欠席  
(議席番号順)

# 議案

## 消防団の報酬アップ 個人へ振り込み

ここでは、条例の制定と設定、人事案件を報告します。消防団の条例が改正されました。主な改正としては、「その他団員」の年額報酬が1万9000円から2万円に増額となり、個人への振り込みとなります。新たな条例が2件制定されました。また、最終日には昨年8月より空席となっていた副町長人事案が提出され、副町長が決まりました。令和3年度一般会計補正では、除雪作業委託料1億5000万円等が追加され、賛成多数で可決しました。

### 主な改正は次のとおりです。

- 消防団員には、別表第1に掲げる年額報酬を支給します。
- 消防団員が、団長の指示により、災害、警戒、訓練等の職務に従事する場合には、別表第2に掲げる出動日額報酬を支給します。

別表第1

階級等		年額報酬額
団長		142,000円
副団長		95,000円
分団長		74,000円
副分団長		56,000円
部長		43,000円
班長		37,000円
団員	機関員(自動車)	30,000円
	機関員(手引可搬)	25,000円
	その他団員	20,000円
機能別団員		7,000円

別表第2

出動等区分		出動日額報酬額
災害	4時間未満	2,000円
	4時間以上	4,000円
警戒、訓練等		2,000円

## 新条例

### 庄内町

### 障がいのある人もない人も

### 共に生きるまちづくり条例

障がいや理由とする差別の解消の推進に関する法律に基づき、全ての町民が、障がい及び障がいのある人に対する理解を深め、障がいを理由とする差別の解消を推進することにより、障がいのある人もない人も共に自分らしい生活を営み、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に寄与することを目的とします。

### 庄内町

### 再生可能エネルギー

### 農山漁村活性化基金条例

庄内町農山漁村再生可能エネルギー基本計画に定める風力発電の開始に伴う発電事業者からの寄附金(毎年1200万円)を原資として、農林漁業の健全な発展に資する事業に充てるため、本条例を制定するものです。

### 副町長決まる

昨年の8月より空席となっていた副町長に、前庄内町商工会事務局長の樋渡満氏(64歳・常万)を選任することに同意しました。



### 臨時会 1月26日

臨時会を開き、一般会計補正予算に収入支出それぞれに3億3658万円を追加しました。主な住民税非課税世帯などへの臨時特別給付金1億7450万円、除雪作業委託料1億4500万円です。賛成全員で原案どおり可決されました。

# 町政を問う

一般質問  
3月2・3日



庄内町議会 HP



北帰行は春のおとづれ

立谷沢地区

## 9人16項目の質問（●印を掲載）

- 小林 清悟 議員  
○行財政改革推進計画について  
●残骨灰の対応について…………… P 15

- 工藤 範子 議員  
○政治姿勢について  
○福祉行政について  
●建設行政について…………… P 15

- 五十嵐 啓一 議員  
●地吹雪時の交通確保について… P 16  
○ギヤラリー温泉「町湯」の駐車場について

- 國分 浩実 議員  
●除雪について…………… P 16  
○JR余目駅について

- 長堀 幸朗 議員  
●本町の建設業の振興について… P 17

- 石川 武利 議員  
●いじめ防止対策について…………… P 17  
○高齢者虐待対策について

- 鎌田 準一 議員  
●中心市街地内の世帯数の状況について…………… P 18

- スルタン・ヌール 議員  
●ALIT（外国語指導助手）について P 18

- 加藤 将展 議員  
●風車の騒音及び電波障害について P 19  
○新型コロナ対策について

### 一口メモ

#### 一般質問と議会広報誌掲載

議会の定例会（3・6・9・12の月に開催）において議員が町長等に対し、行政全般について質問することをいいます。質問時間は答弁を含めて6分とすることなどのほか、色々な約束ごとがあります。

複数の議員が同じ質問をする場合は、後になる議員が、すでにあった答弁（不十分であるときなどは別）と重複しないよう配慮します。

議会広報の掲載文は、一人一問で、質問・答弁各200字以内（見出し文等を除く）とし、定例会最終日まで提出することとしています。

## 財源確保

### 残骨灰の有効活用はいかに

町長 礼節をもち確保に繋げている



小林 清悟 議員

#### 問

全国の市町村では、財政状況が厳しさを増す中、自主財源の確保のひとつとして、故人を火葬し、収骨した後に残る骨灰に含まれる貴金属の、有効活用が広がっている。遺族が収骨した後の残骨灰は、遺族のものではなく、廃棄物とみなされ、厚生労働省の所管となるようだが、明確な規定は設けられておらず、対応は市町村に委ねられているとのこと。本町の残骨灰の対応はどうなっているか。また、自主財源の確保は、どうなっているか。

#### 町長

残骨灰は、令和2年度まで残骨灰処

理業者に処理業務として委託しており、契約額については、残骨灰に含まれる有価物の売却益により処理費用が相殺されるものとして、見積執行により0円で行っていた。

えられたことから、令和3年度は火葬炉灰として売り渡すことに変更し、自主財源の確保にも繋げた。なお、火葬炉灰は、礼節をもって取り扱うよう業者を示している。



残骨灰にも貴重な金属

## 除雪対策

### 計画に基づき万全を期せ

町長 総括の上 対応したい



工藤 範子 議員

#### 問

除雪事業計画の基本方針には「冬の降積雪、風雪による交通障害を克服するため、町道等の除雪を実施し、冬期間における道路の除雪作業及び凍結防止作業を迅速かつ適切に行うことにより、雪害から町民生活を守り、産業活動の維持発展を図る」とあるが、果たして町民生活は守ることができたのか。除雪対応は数十年に一度の集中豪雨と同様に考え備えが大切である。町民が安心して暮らしていけるように万全な対策を講ずるべきではないか。

#### 町長

業者に対しては早急な解消を指示しているが、風によっては直ぐに塞がり、なかなか進まなかったことは事実。町の方でも業者と相談をしながら適切な交通の確保に努めているが、天候にはなかなか勝てないことを理解いた

きたい。対応できるものについては随時対応させていただいている。なお、今年度は豪雪対策本部も立ち上げたので、全体としての総括をしっかりと行っていく、来年度に向けて十分対応できるようにしていければと思う。



今冬も大活躍

## 地吹雪対策

### お助け隊を構築せよ

町長 組織化は難しい



五十嵐啓一 議員

#### 問

毎年、地吹雪による吹き溜まりと視界不良により、主要道路で車が立ち往生する日が何日かある。行政の除雪体制では解消しないが、道路沿いの集落の方々が立ち往生した車を押ししたり、トラクターなどで引き上げるなどの手助けにより走行が復旧した事例がある。このような事態は今後もあり得ることから、町が主導してお助け隊の構築はできないか。



命を守る手助けも 自衛隊による除雪

#### 町長

「地吹雪等の荒天時の作業であること・手助け中のけが等のおそれがあること・周囲の通行車両への規制が必要であること」などから、ボランティアの方々の安全・安心を最優先することを考えると、町が主導してお助け隊的

な組織をするのは難しいと捉えている。

北海道などでは豪雪に備えて標識が上から逆に付いているところもある。何らかの新しい施策、目印みたいなものがないか、多方面から少し検討させていただきたい。

## 除排雪

### なぜ避難場所に排雪したのか

町長 今後は検討する



國分 浩実 議員

#### 問

排雪に関して、この冬は、上朝丸防災緑地が町の排雪場所に指定されていた。除雪こそすべきであるが、排雪場所になり、大きな雪山ができてこのままでは避難場所として機能しないのではないか。大きな地震が近年各地で相次いでいるなかで、どこに避難するのか。排雪場所とするのであれば代替場所を設けるべきではないか。防災倉庫もある避難場所を排雪場所にするのは理解に苦しむ施策であると思うがどうか。

#### 町長

排雪場所の選定に苦慮していたことから、上朝丸の集落と相談

し、了解を得て排雪場所として認めた。防災緑地は奥行きがあり、備蓄倉庫の方からも入れるスペースがある。なお、地震時の一時避難場所に指定している集落の全員が来るのではなく、家屋等に何かしら損傷等があり危険と感じた場合に來ることを想定し、大体15%

と見込んでおり、広さ的には支障がないと判断した。しかし、ご意見を踏まえ、今後も排雪場所に選定するかは、検討させていただきたい。



緑地がこのありさま 上朝丸防災緑地



## 建設業の振興

### 諸課題についてはどうか

町長 それぞれ対応はしている



長堀 幸朗 議員

問 本町の建設業関係の振興。建設

業関係の一般的な課題について。平準化は図られているか。

町長 町では上半期、下半期と発注予定を立てており、できる限りそれに即した形での発注をしようとしている。

問 観光施設や福祉施設の建設やリフォームの需要はあるのか。

町長 観光施策については現行の計画の検証を行いながら第4次計画の策定を予定している。



新築が増えています

高齢者の福祉施設については、新たな介護施設の検討はしていない。人手不足や高齢化対策は万全か。

問 技能向上の支援はできているか。

町長 本町では、中小企業が技能習得、資格・免許の取得に要する

る研修費用、匠工事業主が技能訓練研修へ派遣を行う場合に要する費用を支援している。

## いじめ防止

### 対策・取り組みはどうか

教育長 信頼関係を築く施策を進めたい



石川 武利 議員

問 令和2年度の小学校、中学校、高等

学校、特別支援学校における「いじめ」の合計認知件数として、全国では約51万件となっており、山形県では約1万2400件となっているのが現状である。本町における「いじめ」の実態とその対策、取り組みについて、以下の3点について町の考え方はどうか。

- (1) 教育委員会が行うべき施策について
- (2) 学校が行うべき取り組みについて
- (3) インターネットによる「いじめ」への対応、取り組みについて。

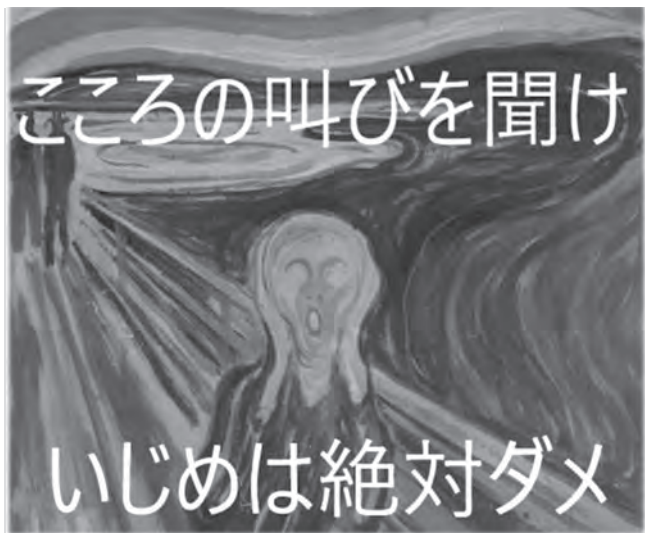
教育長

(1) 各学校の取り組み状況を定期的に見直し、また特に心配な事案が発生した場合はその都度報告を受け、必要に応じて学校に対し支援や助言を行うなどの対応をしている。

(2) 町の基本方針を受け、各校のいじめ防止基本方針

や年間計画に沿って対応している。

(3) 「いじめ防止基本方針」に沿って、学校、保護者、地域と共通理解のもと未然に防ぐ心の指導と誰かに相談できる教育相談体制や子ども、教師、保護者の信頼関係を築く施策を進めたい。



いじめ根絶

## 中心市街地 宅地開発

### 計画的な区画増設を図れ

町長

地域に合った対策が重要



鎌田 準一 議員

問

中心市街地内の世帯数が増加傾向にある。その年次別推移状況や居住者の年齢層、従前の居住地などのアンケート調査はどうか。現実的に庄内町分譲宅地開発支援事業は、人口減少の歯止め対策と世帯数増加促進に実効性が期待できる。期間延長と同時に計画的に区画増設を検討すべきではないか。一方、都市計画区域内の土地利用と移住・定住促進の観点から、新たな計画を策定し審議会に答申すべきではないか。

アンケートを窓口と連携して行っている。ただし、町外から来る方だけで細かな事由・理由は書いていない。

中心市街地のみならず、町全体における人口維持や人口減少への歯止め策としてのハード事業とソフト事業を組み合わ

せ、地域に合った対策を講じていくことが重要と考える。

具体的な事案が出てくれば都市計画審議会に答申する。現状はその段階にはない。新たに加える状況があれば審議会でも検討いただく。

町長

県下全部の自治体で統一様式の



市街地で新築ラッシュ

## 英語教育 推進

教育長

ALITの支援もいただく

### ALIT(外国語指導助手)を増員せよ



スルタン・ヌール 議員

問

(1)小中学校の連携による英語教育推進事業は進んでいるか。

財政面など、本町の規模から考えるとALITの数は1名が適当であると考えている。

なお、ALITと学習支援員では年間50時間を確保している。残り20時間はデジタル教科書を使い、パソコンによる発音なども取り入れ、現状でもかなり対応はできていると考える。

教育長

本町の児童生徒数、学校数また

- (2)2020年から小学校5年生・6年生は成績の付く教科になり、3年生・4年生も外国語活動として授業が始まった。ALITは1名で足りているのか。
- (3)ALIT授業を小学校で増やすことについて、前向きな検討は可能なのか。
- (4)学習支援員1名ですが、増員の計画は無いでしょうか。



いまの時代は英語も大事

## 風力発電

### 騒音被害に誠実に対処せよ

町長 聞き取りを行い騒音の軽減を図る



加藤 将展 議員

#### 問

今年1月に清川地区自治会、事業者、

行政との風車騒音等にかかる意見交換会が開催され、各区長から、騒音で煩く眠れない方が多数いて、葉を飲まなければ眠れない方もいることが報告された。しかし、事業者はこの状況を直接確認せず、新たな騒音測定も苦情の少ない場所が選定された。行政と事業者は、これは健康被害にもなりうる事柄であり、地元の苦情をしっかりと受け止め、解決に向けて誠実な対応を行うべきではないか。

#### 町長

騒音測定器によるデータ収集と実際に住んでいる方が騒音と感

じる時点の聞き取りも一緒に  
に行い、風の強さ、向き等  
と照らし合わせ、今後の運  
転方法について地元と相談  
していくが、騒音測定器の  
場所の変更や追加の必要性  
があるか検討していく。  
運転方法がまだ確立して  
いないが、まずは健康被害  
を防ぐことが第一なので、

騒音の苦情があればすぐに  
ブレードの角度調整等を行  
い、騒音軽減が図られるよ  
うにしていく。  
アンケートについても今  
後検討していく。



地元の理解が大事です

次回 庄内町議会  
6月定例会の会期は

6月1日(水)～8日(水)の予定です

マスク着用  
厳守

みなさまの傍聴をお待ちしております。  
傍聴は短時間でもできます。

※4階議場への昇降が困難な方は、エレベータをご利用いただけます。  
なお、介助が必要な方は、議会事務局(TEL 0234-42-0189)へお申し出ください。  
検温、手指消毒、マスク着用のコロナ対策にご協力下さい。  
発熱など、体調不良の方はご遠慮ください。

## インターネット 議会中継 配信中

庄内町議会のホームページからアクセスできます。(3月総数 17,794 件)

- 図書館ロビー、各地区のまちづくりセンター、立川総合支所でも生配信をご覧になれます。
- 会議後1週間程度で、録画配信をしています。
- スマートフォン、タブレットなどでも生中継、過去の映像を視聴できます。

### 1 庄内町議会で検索

庄内町議会



### 2 トップページ画像下の

議会中継 をクリック

### 3 スマートフォンなら

令和4年 ライブ 全て

の ライブ ボタンをクリックするなど。

# 生かせ提言

## 告書（抜粋）

ホームページに全文掲載

ウェブサイト「庄内町議会 各委員会報告」で検索

### テーマ 障がい福祉について（総務文教厚生常任委員会）

#### 調査目的

令和2年度の調査事件「障がい福祉について」調査を進めてきた。

発達障害と教育環境についての課題が見つかったことにより、調査目的にある「障がいのある方もない方も高齢になっても、すべての町民が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう調査する」を達成するために継続調査することとした。

#### 主な提言

##### (1) 発達障害

ア 発達障害の社会的障壁の除去について

発達障害は特性に応じた支援を受けることができれば十分に力を発揮できる可能性があると考えられている。本町でも合理的配慮を基に、社会的な障壁といわれているものを丹念に分析・調査し、現在行われている「障がい

や課題を抱えている子の早期発見と保護者への啓発・相談」等の特別支援教育の取り組みを更に充実させ、その障壁の除去に努めるべきである。

イ 発達障害の社会的認知について

国の定義（発達障害）に沿って発達障害に関する区分を細分化することにより、町の計画等に発達障害を表記したうえで、その理解が深まる情報発信に努めるべきである。

ウ 児童発達支援センターの設置について

子どもの障がいに対応し、きめ細やかで効果的な支援を身近な場所で提供するため、圏域または町に少なくとも1箇所以上令和5年度末までに設置することあり児童発達支援センターは、町内に設置すべきである。

#### (2) 学童保育

学童保育の現場で障がい児に対応する職員のスキルアップのための研修会を実施すべきである。

#### (3) 教育環境

ア 中学校での進路指導について

イ 中学校卒業後の進路について

イ 中学校卒業後の進路について



新たな学科でスタート

庄内総合高校

学校教育法施行規則第138条の解釈において特別支援学級を高校に設置できないことから、特別支援学級以外に発達障害や知的障がいを持つ子どもの進路の選択肢を増やし、人生の可能性を広げるため、神奈川県との取り組みで実証された高校のインクルーシブ教育を、県立庄内総合高等学校で実践するように山形県に強く働きかけるべきである。

※ インクルーシブ教育：障がいのある子どもたちを通常学級に在籍させ障がいのない子どもたちと同じ様に教育指導すること。

# より良い町づくりのために

## 常任委員会調査報

### テーマ 立谷沢地域の食の魅力発見について（産業建設常任委員会）

#### 調査目的

立谷沢地域には年間を通して山菜やキノコ、川魚等の自然に恵まれた食材が数多くある。これらを活かした食の里づくりを目指して、地域活性化や稼げる産業づくりに資するために調査することとした。

#### 主な提言

##### (1) 食材と食の提供場所の確保

空き家の古民家や立谷沢公民館、御殿茶屋などを活用して、地元食材を使った料理を提供できる場所の確保や、人材を募集すべきである。

##### (2) 食材の安定的確保と生産拡大

転作田を活用したワラビ、ヤマノイモ、ウルイ、ウドなどの栽培が可能となる条件を整備するとともに、アユやニジマスな

どの養殖や放流事業に対して支援を検討すべきである。

##### (3) 食品開発と製造及び販路の拡大

魅力ある地元食材の月山ダケ、ジュンサイ、ヤマノイモ、銀杏、アケビの芽、アユ、川蟹、養殖マスなどを使った食品開発に取り組みべきである。

本町在住の土岐正富氏とともに、新規の食品開発を推進すべきである。

また、ビン缶詰機械を活用させるなど、稼働率を高めるべきである。さらに、地元食材の販売者の募集や販売箇所の増加、広域化を図るなどして消費拡大につなげるべきである。

##### (4) 新規食品のブランド化の推進

提供できる食品の価値をただ情報発信するだけ

でなく、「誰に」「どこで」「どのように」伝えるかを考えるなどのブランド戦略を明確に策定する必要がある。

また、効果的なブランディングに取り組みむには、市場調査や販売促進方法についても検討すべきである。

##### (5) 食文化の発信と伝承

土岐氏の協力をいただくことも検討し、地元食材を生かせる料理人の育

成と料理コンテスト、レシピコンクールなどの開催も検討すべきである。

また、郷土食の保存や継承を図るためにもレシピ集の作成、地元住民による立谷沢の食材を使った料理や加工の仕方などの講習会を実施すべきである。



笹巻きづくり1万個

タチラボレディース

# ようこそ議会傍聴へ（アンケート）

## 感想より

- ・残骨灰の対応には思いもつかずびっくりしています。
- ・町民の人にもはっきり理解出来る方法で示されるべきと思います。
- ・〇〇議員の発表はスキッとしました。何事も気持ちやがどの位あるのか!!と思います。
- ・町長の答え方↓もう少し具体的に！1年で1つでいいと思う位、大きなものをクリアーしてもらえたらうれしいです。
- ・アリガトウございました。
- ・行政に対して何を聞きたいのかわからない質問があった。
- ・議員席にPCがあるが、PCで何をしているか、必要性がわからない。
- ・建設業界の話があるが、建設課長の話があるが、教育行政にも関連があるのではないか。
- ・補助金の実績までなぜ聞かないのか。

## 選択肢回答より

- ・傍聴に来て良かった。
- ・勉強になった。
- ・議会が頑張っていることがわかった。
- ・町の動きがわかった。
- ・議会のやりとりがわかった。
- ・よく回答していると思う。

（傍聴者合計12人）

※実際に会議を傍聴していただくことで、議会活動を知ることができます。

※本会議はどなたでも、ご自由に傍聴していただけます。また原則として、委員会も傍聴していただけます。

## 議会より

議場でのパソコン使用について、前回も同様の意見をいただきました。これは、会議のペーパーレス化を図るため、全議員に議案書、予算書等を電子データで配信しています。したがってパソコンの画面を注視することになります。また、議員によっては資料に追記するなどしています。経費削減となっておりますので、ご理解下さい。

### 〇議会広報常任委員会アンケート

ようこそ議会傍聴においでくださいました。

より良い「議会」にするために、いろいろ意見を集めています。アンケートにご協力お願いします。

1 議会傍聴に来て良かったと思いますか。その理由も教えてください。（複数回答可）

はい いいえ

- ・勉強になった
- ・おもろかった
- ・緊張感があった
- ・議会が頑張っていることがわかった
- ・町の動きがわかった
- ・その他（ ）
- ・つまらなかった
- ・ネット中継で十分だと思った
- ・議会の熱意が伝わらなかった
- ・その他（ ）

2 議会のやり取りはわかりましたが、

はい いいえ

「いいえ」の方にお伺いします。何がわからなかったですか。

- ・行政用語がわからない
- ・質問の主旨がよくわからない
- ・答弁が適切でない
- ・その他（ ）

3 その他、気付いたことがありましたら、何でもお聞かせください。

- 例) 議会の質問の内容が良かった。(悪かった)
- 町の説明の内容が良かった。(悪かった)

ご協力下さい



委員の思いがひとつに

山形県町村議会議長  
会主催の議会広報コン  
クールで庄内町議会広  
報誌「こんにちは庄  
内町議会ですNo.67」が  
入選し、國分浩実議長  
が代表して表彰状を受け取  
りました。  
見出しで記事の内容  
が分かるような工夫を  
したことや、町民を主  
役にした写真の使い  
方、また、「議会解体  
親書」をシリーズ化し  
ていることなどが評価  
されました。  
これからも分かりや  
すく議会活動を伝えて  
いきます。

読みやすい紙面、  
写真の使い方などを評価

議会広報  
「こんにちは庄内町議会です」が表彰

## 山形県町村議会議長会 表彰



齋藤 秀紀 議員

山形県町村議会  
議長会自治功労者  
表彰として、在職  
11年以上の表彰を  
受けました。  
平成22年の初当  
選以来連続3期、  
町議を務めました。

五十嵐 啓一 議員

山形県町村議会  
議長会自治功労者  
表彰として、在職  
11年以上の表彰を  
受けました。  
平成22年の初当  
選以来連続3期、  
町議を務めました。

## 全国町村議会議長会 表彰



石川 武利 議員

全国町村議会議  
長会自治功労者表  
彰として、在職15  
年以上の表彰を受  
けました。  
平成18年の初当  
選以来連続4期、  
町議を務めました。

# 体親書

たい しん しょ



## 庄内町議会議員選挙

これまで何度か議員のなり手不足解消に向けた活動や選挙制度の変更について掲載してきました。いよいよ議会議員選挙日程が決定したことから、改めてどのような選挙となっているのか、また立候補するための準備はどうしたらいいのか等、お伝えします。

なお、3月15日発行の町広報誌に「選挙公営」の詳細を掲載したチラシが折り込まれていますので、併せてご参照ください。

令和4年  
6月14日告示  
6月19日投開票

### 定数・報酬 決まる

議員定数については、令和3年12月定例会において条例改正し、現在の16人から2人減の14人と決まっています。報酬については、特別職報酬等審議会の答申に合わせた形とし、今定例会で条例改正を行い、月額報酬24万円に決まりました。

### 議員報酬の 年額は？

月額報酬については上記しましたが、年間報酬については、所属する常任委員会等で少し違いがありますが、期末手当（6月、12月）、会議出席の際に支給される費用弁償1日千円を合わせると390万円程度になると思われます。（正副議長を除く）

### 選挙運動

選挙運動ができるのは、6月14日から5日間です。投票日の19日はもちろんのこと、6月14日以前も出来ません。活動できるのは後援会活動、政治活動であり、選挙運動とは区別されています。そのため、「政治団体」の届け出が必要です。届け出がないと活動が制限されるので注意が必要です。届け出先は県選挙管理委員会（庄内総合支庁内）となります。

スがあります。



シリーズ  
Vol.22

# 議会

# 解 わかり



## 選挙カー

ほとんどの候補者は、乗用車などに看板やスピーカーを取り付けたいわゆる「選挙カー」を準備、使用しています。今回より選挙公営が適用されるので、一部公費負担されます。レンタカーを借りて看板やその他機材を自前で用意すれば、公費負担内で収まるものと思われれます。看板や機材等すべて込みで借りる場合は、概ね20万円〜30万円の自己負担が発生します。（選挙支援専門業者のHP等をご覧ください）また、運転手報酬1日上限1万2500円、燃料代1日上限7560円も公費負担となります。

## 供託金

公費負担が増えることと併せて、供託金が発生します。金額は15万円です。告示日の前日までに原則現金での納入となり、一定の得票があれば方が一落選となった場合も返金されます。平成26年と同様の投票率60%台後半とすれば、90票程度の得票が没収点となります。

\*\*\*

4年に一度の町議選です。町民の皆さんに選挙権を行使していただくためにも無投票は避けたいものです。我こそと思う方は早めの準備が必要です。ここに掲載した内容を含め詳細は町選挙管理委員会にお問い合わせください。

# 生声ひろば

余日中学校  
卒業式  
3月16日



がんばれ高校生活

世の中は、新型コロナウイルスのオミクロン株の流行で子どもたちに感染が広がり、学校閉鎖などが相次いでいます。また、世界に目をやれば、ウクライナへのロシアの侵攻による戦争の勃発とこれまでに考えもしなかったことが現実に起きています。そんな世情の中、3月16日に町立余日中学校で卒業式が行われました。来賓も在校生も出席しない卒業式。けれども式典が終わって

未来に向かって大きくはばたけ!

学校の玄関先では、春の温かい日差しの中で、級友たちが先生と一緒に写真を撮る光景はまさに青春そのものでした。

卒業生の齋藤光希君は「卒業式の短い時間の中で3年間のいろんな思い出があふれ出てきました。感動の一言です。」

渡邊友美先生は「卒業ほんとうにおめでとう。高校でもそれぞれの道を楽しんで進んでください。」

広報誌の表紙になったこの卒業写真は、きつと、みんなの思い出とともにずっと忘れないものになるでしょう。卒業生のみんな、コロナに負けず頑張れ！そして、未来に向かって大きくはばたけ！

(將)

## 事務局体制

議会事務局体制は、今年度も成田事務局長、佐藤(博)書記、杉山書記、監査事務局書記(議会事務局書記併任)の佐藤(一)書記の4人体制となります。



成田局長、杉山さん、佐藤(博)さん、佐藤(一)さん

庄内町花き振興会より生花を寄贈いただきました。



平成30年6月の庄内町議会議員選挙から早いもので4年が経過しようとしている。県内で記録が残る町村議選では初の定数割れでの無投票、1人足りない15人の候補者全員が当選した。3年後の令和3年7月の補欠選挙で1人当選、現在は定数通りの16人で議会を運営している。

議員のなり手不足が全国的に叫ばれているなか、庄内町議会では、町民も参加し、なり手不足解消の一手を探ってきた。報酬の件、普段の議員個々の活動が分からない等、様々な意見をいただき、議論してきた。

なり手不足解消調査特別委員会から出された「定数12人、月額報酬28万円」との報告は、議員間での議論の末、違う答えになってしまった。とは言え、選挙公営の適用も含め、これまでより立候補しやすい環境にはなった。町民の皆さんに投票していただき負託にこたえるのが議員本来の姿であり、連続での無投票当選はあってはならない。

(國分 浩実)

発行人 吉宮 茂  
議長 國分 浩実  
副委員長 澁谷 勇悦  
委員 鎌田 準一  
委員 加藤 將展  
委員 阿部 利勝  
委員 長堀 幸朗

議会広報常任委員会